

一過性ではなく、持続可能な地域を創るプロセスとは？

地方の差別化ポイント？

地域固有の「文化」

地域の独創性

歴史文化

伝統文化

自然文化

食文化

持続可能な地域を創るプロセスとは？

①地域のありたい未来 = 高い目標設定(非連続の成長)

②目標の共有化 = 地域内の合意形成

③目標達成するための3本の矢

1. 事業計画 (中長期計画を、毎年見直す)

2. 財源確保 (中長期の安定確保)

3. 推進体制 (推進組織に投資を集中、支える官民)

④住民視点のコアバリュー(観光資源)を磨き込む
住んでよし、訪れてよしの観光地域づくり(※後述)

⑤データで素早く検証して、改善スピードを高める
(PDCAの高速化、小さな成功の地域への共有)

住民視点の地域づくりは、「持続可能」と「オーバーツーリズム対策」を実現する

- 住民が愛着と誇りを持つ資源を「コアバリュー(地域の観光価値)」とする
- 「コアバリュー」を観光資源として磨き、PRし、来訪を促進する
- 住民は、訪れる旅行者に感謝する気持ちを持つ
- 住民自身が「コアバリュー」の資源を守り、育てる意識が芽生える
- 「生活への支障 < 旅行者への感謝」は心理的なオーバーツーリズムの解決になる